

2026 年度 早稲田大学・法学部 〔Ⅲ〕問 1・3・4・10〔問題編〕

早稲田大学の日本史は、単純に覚えた知識を使って解くだけではなく、知識を組み合わせ考えていくと正解にたどり着く問題が出題されます。今回は、そのような知識を組み合わせ考えて考える問題を紹介します。ぜひ挑戦してみてください。

〔Ⅲ〕 次の史料は、長州出身のある人物が亡くなった翌日、1915 年 9 月 2 日に掲載された『東京朝日新聞』の記事である（一部表記を改めている）。史料を読み、後の問に答えなさい。

〔A〕老侯は（中略）夙に勤王の志を抱き攘夷討幕の急進論者たりしが、京師の変、幕府の長州征伐に際して大に憤り、〔B〕と共に幕兵を遊撃して之を敗り、其後維新の前後に於て挺身国事に奔走し（中略）a 徳川幕府倒れて王政復古の大業成るや、明治元年挙げられて〔C〕の職に就き、同四年大蔵大輔となり、同年 b 大蔵卿大久保利通の海外に使すると共に廃藩置県の新令発布せられ、c 侯は専ら是等の内政について奮励努力能く其任を竭したり。爾来諸要職を経て十二年九月外務卿に任じ、欧化主義を発揮して盛んに泰西の形式を輸入したるなど今も尚世人の記憶に存する所なり。d 明治十八年伊藤内閣の際外務大臣となり、廿一年には農商務大臣に転じ、e 廿五年内務大臣となり伊藤首相の病中内閣総理大臣臨時代理を仰付けられしが、其後もしばしば台閣に入って重要の位置を占め、三十一年大蔵大臣辞職後は野に下りて再び朝に立たず、或は実業方面に或は好める趣味的生活に隠れたるも、先年 f 元老の御待遇を拝受して時に政局に関さはる事あり、隠然朝野に大勢力を有しつつ今日に及べり。

〔問〕

- 1 空欄Aには、ある人物の名字が入る。この人物の姓名を、漢字で記述解答用紙に記入しなさい。
- 3 空欄Cには、三職のうちの1つが入る。漢字で記述解答用紙に記入しなさい。

4 下線 a の時期の出来事に関する記述①～⑤を，古いほうから年代順に正しく並べているものはどれか。1つ選び，マーク解答用紙の該当記号にマークしなさい。

- ① 政体書が出された。 ② 小御所会議が開かれた。
③ 王政復古の大号令が出された。 ④ 年号が明治に改元された。
⑤ 五箇条の誓文が出された。

あ ③→④→⑤→②→①

い ②→③→①→⑤→④

う ③→②→⑤→①→④

え ②→④→③→⑤→①

お ③→⑤→②→④→①

10 空欄Aの人物は，大蔵大臣を一度つとめた経歴をもつ。空欄Aの人物が大蔵大臣をつとめていた時期より後に生じた出来事はどれか。史料を手がかりに1つ選び，マーク解答用紙の該当記号をマークしなさい。

- あ 貨幣法が制定された。
い 日本郵船会社が発足した。
う 日本の綿糸輸出量が輸入量を上回った。
え 三井合名会社が設立された。
お 日本鉄道会社が設立された。

現役合格への 軌跡

2026 年度 早稲田大学・法学部 〔Ⅲ〕問 1 〔解答・解説編〕

【解答】

正解：井上馨

【解説】

史料中の空欄Aに該当する人物を答える問題です。問題文や史料からヒントを拾っていきましょう。まず、問題文からは「長州出身」というヒントを拾えます。次に史料からは、「十二年九月外務卿に任じ、欧化主義を発揮して」や「明治十八年伊藤内閣の際外務大臣となり」から外交関係で活躍した人物であるということが分かります。また、「元老の御待遇を拝受して」から元老に列せられた人物であるということも分かります。長州出身、外交関係で活躍、元老となった人物というヒントから、ある程度予想が固まってきましたが、決定的なものを探っていきましょう。「欧化主義」や「明治十八年伊藤内閣の際外務大臣となり」という部分が人物を特定する決定的なものになります。明治十八年は西暦に換算すると 1885 年であり、1885 年は内閣制度ができ、第 1 次伊藤博文内閣が成立した年です。第 1 次伊藤博文内閣で初代外務大臣となった人物といえば井上馨ですね。井上馨は条約改正の予備交渉を行うために欧米列強の外交官を東京に集めました。その際に日本の近代化をアピールするために、鹿鳴館を建築するなど積極的な欧化主義をとりました。人物を特定するキーワードを問題文中や史料から探し出して、知識と組合せて考えていきましょう。

ちなみに、明治元年は 1868 年なので覚えておくと、明治六年の政変は 1873 年、明治十四年の政変は 1881 年など、西暦に換算する際に便利ですね。

2026 年度 早稲田大学・法学部 〔Ⅲ〕問3 〔解答解説編〕

【解答】

正解：参与

【解説】

つづいて問3の解説です。史料中の空欄Cに該当する三職のうちの1つを答えるという問題です。三職は王政復古の大号令の際に設置された朝廷の役職で、総裁・議定・参与の三つでしたね。それぞれに任命されたのはどの属性の人かを知っておく必要があります。

総裁は明治新政府の最高官職として政務を総括するという役職です。皇族の有栖川宮 熾仁親王が総裁に就任しました。

議定は実務を監督するという役職であり、皇族や公家、大名が任命されました。三条実美や岩倉具視の他、福井藩主の松平慶永や土佐藩主の山内豊信も議定に就任しました。

参与は実務を担当するという役職であり、公家や薩摩藩や長州藩を中心に雄藩の藩士が任命されました。明治新政府の実務を担ったため、参与に就任した人々はこの後、明治新政府の中心になっていきます。井上馨は長州藩士であったため、三職のうちでは参与に就任しました。

【解答】

正解：う

【解説】

つづいて問 4 の解説です。下線部 a「徳川幕府倒れて王政復古の大業成る」の時期の出来事を古い順に並び替えるという問題です。それぞれ, ①の「政体書が出された」は 1868 年閏 4 月, ②の「小御所会議が開かれた」は 1867 年 12 月 9 日, ③の「王政復古の号令が出された」は 1867 年 12 月 9 日, ④の「元号が明治に改元された」は 1868 年 10 月, ⑤の「五箇条の誓文が出された」は 1868 年 4 月です。同年におこなわれた出来事が多く, 西暦や月で並び替えるのは大変ですが, 流れを押さえて正解を導いていきましょう。

1867 年 12 月 9 日, 天皇中心の政治を目指し, 幕府や摂関の廃止と三職の設置を宣言する王政復古の号令が出されました。同日夜に, 徳川慶喜に対して辞官納地を命じることになった小御所会議が開かれます。この流れを知っていれば, ③→②という順番を導くことができます。また, 五箇条の誓文や政体書が出され, 明治改元がおこなわれたのは, 戊辰戦争中であることを知っていれば, ②の後に①・④・⑤を並べることができます。選択肢をみると, ③が最初で次に②となっている選択肢はうのみのため, うが正解だと判断することができますね。

並び替え問題を解く際には, 年号を覚えることも大事ですが, 流れを押さえていけば解くことができる問題が多いですので, 流れを押さえていきましょう。また, 選択肢を活用して解答時間を節約していきましょう。

2026 年度 早稲田大学・法学部 〔Ⅲ〕問 10〔解答解説編〕

【解答】

正解：え

【解説】

つづいて問 10 の解説です。空欄Aの人物（井上馨）が大蔵大臣を務めていた時期より後の出来事を選択肢から選びなさいという問題です。それぞれの年号が分かりにくい選択肢が並んでいるため、大問Ⅲの中で最も難解な問題ですね。まず、史料を手がかりに井上馨が大蔵大臣を務めた時期を特定していきましょう。大蔵大臣に就任した時期は史料には書かれていませんが、史料中に「三十一年大蔵大臣辞職」とあるように、明治三十一年に大蔵大臣を辞職したことがわかります。明治元年は 1868 年のため、明治三十一年は 1898 年です。選択肢の中から明治三十一年（1898 年）以降の出来事を選んでいきましょう。

選択肢の中で年号がわかりやすいものから判断していきましょう。まずは、あの「貨幣法が制定された」です。貨幣法は 1897 年に第 2 次松方正義内閣で制定されました。日清戦争の賠償金を準備金として金本位制を定めたものです。日清戦争後に金本位制が確立することは基本的な知識として押さえておきたいですね。貨幣法制定は 1897 年のため、1898 年以降の出来事ではありません。

次に、うの「日本の綿糸輸出量が輸入量を上回った」は 1897 年です。大阪紡績会社が機械制大紡績工場による生産を確立したため国内生産量が増加していきます。1890 年には綿糸の生産高が輸入量を上回り、日清戦争後の 1897 年には輸出量が輸入量を上回りました。グラフ問題でも頻出のため、日清戦争後には綿糸の輸出量が輸入量を上回ったことを押さえておきましょう。綿糸輸出量が輸入量を上回ったのは 1897 年のため、1898 年以降の出来事ではありません。

次に、おの「日本鉄道会社が設立された」は 1881 年です。日本鉄道会社は日本初の私鉄会社として、華族の金禄公債を元手に設立されました。日本鉄道会社が設立された年号まで覚えておくのは難しいかもしれませんが、日本鉄道会社の成功を受けて民営の鉄道建設ブームが起これ、1889 年には民営鉄道が官営鉄道の営業距離を上回ったことを押さえておきましょう。日本鉄道会社の設立は 1881 年のため、1898 年以降の出来事ではありません。

次に、いの「日本郵船会社が発足した」は 1885 年です。日本郵船会社は岩崎弥太郎が

現役合格への 軌跡

設立した三菱汽船会社と、三井を中心として設立された半官半民の共同運輸会社が政府の調停によって合併して創立された汽船会社です。日本郵船会社は近海航路、ボンベイ航路、欧米豪の三大航路を開設し、日本最大の汽船会社に発展しました。インドと日本を結んだボンベイ航路は、インド産綿花の輸入に活用され、綿糸の生産増加に大きく貢献しました。綿糸の生産増加には日本郵船会社が大きく貢献したことを考えれば、日本郵船会社が設立された年号を知らなくても、綿糸の生産高が輸入量を上回る 1890 年や輸出量が輸入量を上回った 1897 年よりも前に、日本郵船会社が設立されたと判断できます。

以上の選択肢が、井上馨が大蔵大臣を辞職する 1898 年よりも前であることが判断できれば、えの「三井合名会社が設立された」が正解だと導くことができます。えの「三井合名会社が設立された」のは 1909 年の出来事です。三井合名会社が設立された年号は細かい知識ですが、他の選択肢の年号から選択肢を絞って正解を導いていきましょう。

以上のように、産業関係の年号は覚えるのが少し難しいですが、グラフ問題などで役立つので覚えておきましょう。

今回は、2026 年度の早稲田大学・文化構想学部〔Ⅱ〕の解説をお送りする予定です。